

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年2月1日（水）

2 確認箇所

- (1) 陳場沢川河口の北側護岸エリア
- (2) 1～4号サブドレン他集水設備移設予定箇所（ろ過水タンク西側）

3 確認項目

- (1) 5、6号機取水路開渠内の浚渫土砂の仮置き状況
- (2) 1～4号サブドレン他集水設備移設予定箇所の整備状況

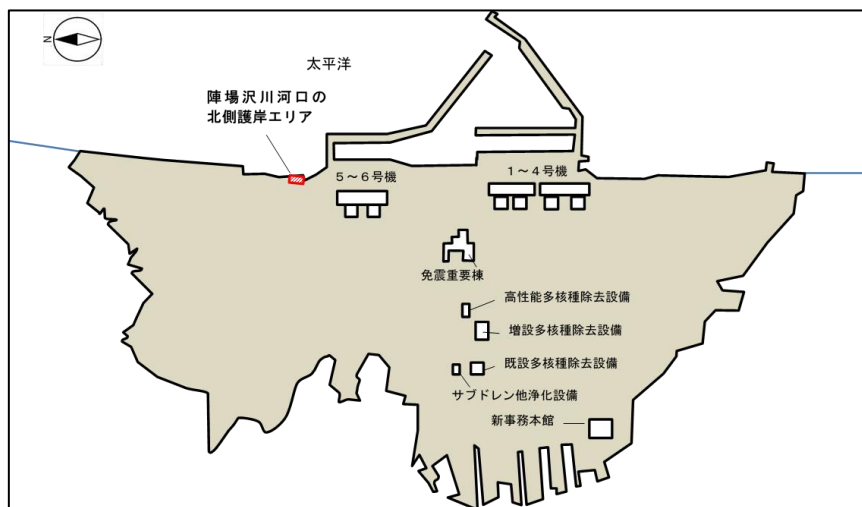
4 確認結果の概要

- (1) 5、6号機取水路開渠内の浚渫土砂の仮置き状況

東京電力によると、ALPS処理水希釈放出に係り、5、6号機取水路開渠内の環境改善のため、5、6号機取水路開渠内に堆積している土砂を撤去（浚渫）し、それに伴う浚渫土砂は、陳場沢川河口の北側護岸エリアの浚渫置き場へ運搬することとしている。従って、その状況を確認した。

(図1) (写真1)

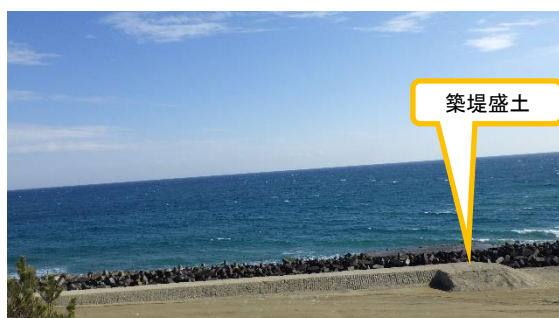
- ・東京電力によると、浚渫土砂の置き場全体を囲うように、海岸線から陸側に約35.0m、満潮時の海水面からの高さ約3.5mの位置に、高さ約2m (T.P.+6.4m) の築堤盛土をセメント改良土にて構築するとしており、現地確認時、築堤盛土が設置されていた。(写真2)
- ・設置されている築堤盛土内に浚渫土砂が搬入・保管されていた。(写真3)



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
浚渫土砂の置き場概観



(写真2)
築堤盛土の設置状況

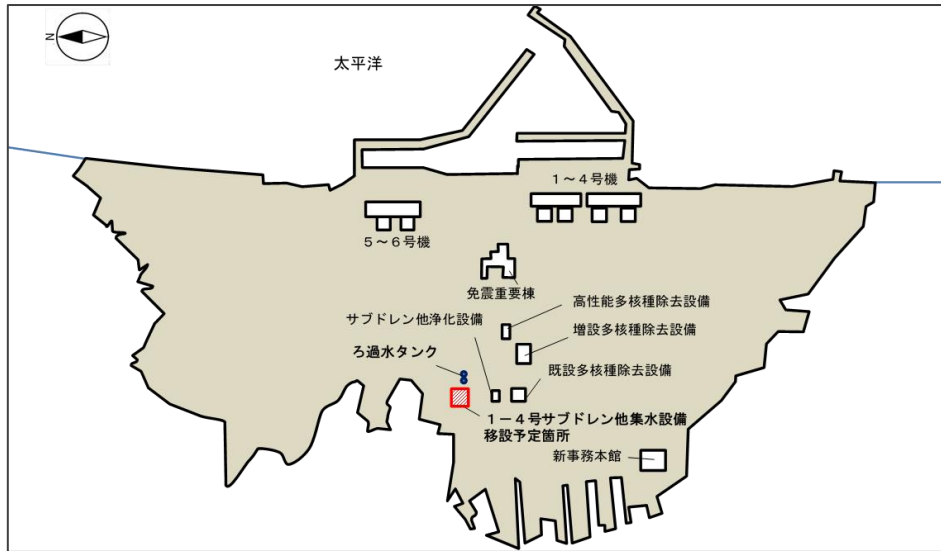


(写真3)
浚渫土砂の保管状況

(2) 1～4号サブドレン他集水設備移設予定箇所の整備状況

津波対策の一環として、現在 T.P. 2.5m 盤に設置している 1～4号サブドレン他集水設備を高台 (T.P. 33.5m 盤) に機能移転する工事のうち、移設予定先のろ過水タンク西側のエリア整備が令和3年7月から実施されていることから、作業の進捗状況を確認した。(図2) (前回確認日：[令和4年10月28日](#))

- ・前回確認時に実施されていた地盤改良工事は完了し、エリア全体の地面にコンクリートが施工されていた。(写真4)
- ・当該エリアには10基のタンクが設置される予定であり、1基分の基礎設置のための鉄筋の組み立てが実施されていた。なお、鉄筋の運搬にはクレーンが使用されていた。(写真5)
- ・エリア内のタンクの基礎は2基分が設置されていた。(写真6)



(図2) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真4)
エリアの概観



(写真5-1)
エリア整備作業の状況① (令和4年
10月28日撮影)



(写真5-2)
鉄筋組み立て作業の状況①



(写真5-3)
鉄筋組み立て作業の状況②



(写真6-1)
エリア整備作業の状況② (令和4年
10月28日撮影)

(写真6-2)
エリア内のタンクの基礎の一例

5 プラント関連パラメータ等確認

日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。